# 令和８年臨時理事会議事録

1. 開催日時　　令和８年５月１２日（火）　午後６時00分～
2. 開催場所　　ZOOMによるオンライン会議システム
（以下、「本オンライン会議システム」という。）
3. 出席役員　　理事　秋元治朗、磯本 一、井上啓史、臼田実男、岡崎茂俊、岡本芳晴
小川恵美悠、奥仲哲弥、尾花 明、片岡洋望、坂本 優、土田敬明、
中村哲也、平川和貴、古川欣也、松井裕史、村垣善浩、矢野友規
監事　大崎能伸、西脇由朗

欠席役員　　理事　池田徳彦、守本祐司、武藤学、小倉俊一郎、佐藤俊一
理事総数　　;23名　議決権個数　23個
本理事会出席理事;18名　議決権　　18個

議　長　　代表理事 古川欣也

議事録作成者　　理事 秋元治朗、理事 矢野友規

4. 議事の経過の要領及び結果
代表理事古川欣也は定款第36条の定めに従い議長席に着き、以上の通り本日の出席理事数及びその議決権数等を報告、本会の全議案を審議するのに必要な法令及び当学会定款34条に定める定足数を満たしている旨を報告した。
よって、議長は本会を開会する旨を宣し、本オンライン会議システムにより、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状況となっていることを確認した後、直ちに下記議案に入った。

【報告事項】
・坂本優理事より、婦人科CIN（子宮頸部上皮内腫瘍）医師主導臨床試験の経過報告がなされた。低侵襲な代替療法として医師主導の治験を行い、主要評価項目（CR割合）、副次評価項目、安全性を総合的に検討した結果、標準治療（円錐切除術）と比べて遜色ない良好な結果と考えられることが報告された。昨年11月に申請したPMDAによる承認審査は進行中で、今後厚労省の部会審査を経て、今年11月に薬事承認、来年６月保険適用になる予定であることが述べられた。CIN-PDT保険適用へ向けての学会連携体制については既承認適応（再発食道癌PDT）と同じ体制（日本光線力学学会内にWG設置）の予定である。現在連携方法を婦人科系学会（婦人科腫瘍学会がメイン）と協議中であることも報告された。早期保険適用に関する厚労省宛要望書については、より多くの学会から厚労省宛要望書を提出したほうが、希望する技術料確保に優位になると考えられるため日本光線力学学会、婦人科系学会からもまた日本レーザー医学会も加えての要望書を提出することを依頼する予定である。
・坂本理事より、2029年のIPA日本開催についてプログラム委員を構築し、パシフィコ横浜開催で立候補する予定であることが述べられ、IPA理事会にて開催地が決定するとのことである。
・臼田理事より末梢肺癌PDT医師主導臨床試験の経過報告があった。昨年４月に治験のデータをPMDAに提出したところ、当初PFSの評価でよいという見解のもとプロトコールを作成し良好な結果を得たが、担当が変わり、総合的にみると評価できないとのコメントをいただいたことが説明された。今後最小限の症例数で、治験を追加し再トライすることが示された。
・第35回日本光線力学学会学術講演会について矢野友規大会長より、2025年11月22日（土）～24日（月）の３日間、東京慈恵会医科大学大学１号館にて第46回日本レーザー医

学会（大会長 坂本優先生）と第21回日本脳神経外科光線力学学会（大会長 鰐渕昌彦先生）の3学会合同Laser Week VI in Tokyoとして開催したと報告があった。620名超の参加があり、更にプログラムにおいてもすばらしい発表と活発な討議がなされたことが報告された。

・2026年5月22日（金）～23日（土）に高知県立県民文化ホールにおいて、「光線医療たちの想造」をテーマに、 第22回日本脳神経外科光線力学学会（大会長：石川栄一先生）との合同開催となる第36回日本光線力学学会学術講演会について、井上啓史大会長より報告がなされた。本学術講演会はホスピタリティの高い学会を目指して準備が進められており、両学会合同の特別講演、日本光線力学学会単独のシンポジウム、ポルフィリン ALA 学会との合同セミナー、スポンサードセミナーに加え、一般演題の登録も行われているとの説明があった。また、若手研究者を対象とした奨励賞の創設も予定されており、学術講演会の準備は順調に進んでいる旨が報告された。

・2027年の第37回日本光線力学学会学術講演会は防衛医科大学の守本祐司先生が会長でLaser Week VIII in Tokyoを3学会で2027年11月13日（土）、14日（日）、イイノホール&カンファレンスセンター（東京都・内幸町）で開催されることが古川理事長より報告された。

【決議事項】

第1号議案　婦人科CIN-PDTの承認後に向けたワーキンググループ結成に関して

坂本理事より、ワーキンググループのメンバー候補については既に内諾を得ており、今後トレーニングシステムを構築していく予定である旨の説明がなされた。その後、ワーキンググループの結成について審議が行われ、これを承認した。また、ワーキンググループのメンバー選任については、今後の追加メンバーの選任も含めて坂本理事に一任することが承認された。さらに、ワーキンググループのメンバーには、可能であれば日本光線力学学会の会員となっていただくことが提案された。

以上

令和８年５月１２日

一般社団法人 日本光線力学学会

議　　長　　古川 欣也

議事録作成理事　　秋元 治朗

議事録作成理事　　矢野 友規